

夢や希望をはぐくみ個性を生かして学ぶ児童の育成

学校だより みかさ



2021年（令和3年）1月号 1月14日発行

鹿嶋市宮中2042-1 TEL 0299-82-8101 ホームページ <http://www.kashima.ed.jp/~mikasa-el/>
児童数 745名 FAX 0299-83-4091 Eメール mikasa-el@kashima.ed.jp

明けましておめでとうございます。子供たちの元気なあいさつで、新しい年がスタートしました。この1年が、お子様にとって、また保護者の皆様にとって笑顔がたくさんになる年になりますよう、お祈り申し上げます。寒さが一段と身に染みるこの季節ではありますが、休み時間には子供たちが、元気に校庭を走りまわっています。「みんな輝けさわやかに～みかさの子～」をスローガンに、職員一丸となって子供たちの成長を支えていきます。本年もよろしくお願いいたします。



令和3年がスタートしました。「あけましておめでとうございます。」

楽しい冬休みを送ることができましたか？ 冬休みに入る前に、私からお願いをしました。それは、「大掃除など家族の一員としてお手伝いをしましょう。」ということでした。みなさんできたでしょうか。

さて、冬休み中に交通事故や大きなけがもなく3学期の始業式を迎えられたことを大変うれしく思っています。

今日から3学期がスタートしますが、皆さん、3学期は何日学校に来ると思いますか？ 今日を入れて、1から5年生は51日、6年生は50日しか登校する日がありません。ですから、一日一日を大切に生活してほしいと思います。

3学期は、今の学年の「仕上げ」と、次の学年の「準備」をする学期になります。

6年生は、4月からは、いよいよ中学生です。「みかさの子」としての6年間の総まとめの時期にあたります。勉強はもちろんですが、1年生から5年生の模範となる姿を是非、たくさん見せてもらい、三笠小の素晴らしい伝統が引き継がれるようにしてください。そのためにも、5年生は、6年生の良いところをいっぱい見て、最上級生になる心の準備をしてほしいと思います。また、4年生から1年生の皆さんは、特に学習面で苦手なところ、わからないところを3学期のうちにできるように努力してください。

最後に、今年度、一番しっかりできるようになってほしいと皆さんに話していた「あいさつ」についてお話をします。1学期に比べ、2学期は、日に日に「あいさつ」をすることが、当たり前のようにできるようになった人が増えてきました。朝、校門に立っていて「おはようございます。」と自然にあいさつが交わせると私は、本当に毎日、嬉しい気分になりました。あいさつは、100年経っても、また、世界中どこに行っても大切なものです。「人間」という字を思い浮かべてください。「人は、人と人の間で人間になる。」と言われるくらい、人とのかかわりは大切なことです。そして、いろいろな人とかかわりをもつには、自分から心を開くことが大切で、その始まりが「あいさつ」をすることだと思います。

3学期、気持ちのいい「あいさつの輪」をもっと広げていきましょう。

3学期始業式「校長先生の話」より



＜3学期始業式＞ 今年度は密を避け、校内放送で集会が行われています。3学期始業式も、1月8日の朝8時20分から校内放送で行われました。